

本件は、大阪市政記者クラブ、高知県庁県政記者クラブ、
幡多記者クラブ加盟各社に資料提供を行います。

平成 27 年 10 月 26 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、西村、田中)



いぶり 海遊館の以布利センター

飼育例が極めて少ないイトマキエイを報道関係者に公開

海遊館（大阪市港区）が運営する「大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センター」（高知県土佐清水市以布利、以下「以布利センター」）では、現在、世界中の水族館でも以布利センターだけでしか見られないイトマキエイを飼育しています。以布利センターでは過去に 2 回、イトマキエイの飼育経験がありますが、複数のイトマキエイを飼育するのは今回が初めてです。



飼育中のイトマキエイは、平成 27 年 7 月に以布利の沖合に設置された大型定置網（以布利共同大敷組合が運営）に入網しました。以布利港内の生簀（7m×7m×深さ 5m）に搬入後、イサザアミやオキアミを与えて餌付けに成功し、同年 8 月 17 日に以布利センター第一水槽に移しました。現在、健康管理のためのトレーニングを開始し、血液性状などの基礎的なデータの収集を行っています。

イトマキエイは輸送や飼育がとて難しい種類で、今回の成功は以布利共同大敷組合の協力があったことです。海遊館では、これからも生物多様性が豊かな以布利の海について調べ、みなさまにお伝えし続けたいと考えています。

以布利センターのイトマキエイを報道関係者に公開します。

10 月 29 日（木）9 時 00 分より、以布利センターにてイトマキエイの餌やりの様子を撮影していただけます。ご希望の方は、前日までに海遊館広報チームにご連絡ください。（電話：06-6576-5529）

【イトマキエイについて】

和名：イトマキエイ 英名：Spinetail mobula 学名：*Mobula japonica*

トビエイ科。南日本から東シナ海、南シナ海、ハワイにかけて分布する大型のエイの仲間で、頭部の両端にある“糸巻きのような”頭ビレが特徴。成長すると体の幅が2m50cm以上になる。

以布利センターでは、これまで2回（平成20年、平成21年）のイトマキエイの飼育に成功しており、今回は3回目。

【大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センターについて】

平成9年9月24日、高知県土佐清水市以布利に開設。大型の円形水槽（直径約20m、水深約5m、容量約1,600t）と研究管理棟を設置。海遊館で展示する生物の収集、生態研究ならびに足摺岬周辺海域における海洋生物の基礎的研究を始める。

平成13年4月には京都大学、高知大学と共に行った魚類相調査の成果をまとめ、海遊館から図鑑「以布利 黒潮の魚 ～ジンベエザメからマンボウまで～」を発行した。同図鑑には、ジンベエザメやマンボウの形態や飼育下における生態をはじめ、日本初記録となる「イブリカマス」、「カイユウセンニンフグ」の2種を含む136科567種を収録。「イブリカマス」は、平成17年5月発行の日本魚類学会の英文学会誌（Ichthyological Research）において、新種に認められた。

平成21年12月12日には、「第二水槽」（縦約19m×横約31m×水深約5m + 縦約8m×横約8m×水深約5m、容量3,300t）を開設。ジンベエザメなどの大型魚類の飼育を行い、健康管理のためのトレーニングや回遊経路調査などに取り組み、謎の多い海洋生物の生態調査や繁殖研究を行っている。



以布利センター（右：第一水槽、左：第二水槽）